


海外感染症情報

情報源：
厚生労働省検疫所ホームページ
(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報

| 発生地域 | 更新年月日 | 情報内容 |
|------|-------------|---------------------|
| — | 2016年02月17日 | ジカウイルス感染症の発生状況（更新）★ |
| アフリカ | 2016年02月16日 | 黄熱の発生 - アンゴラ |

★【2016年02月17日更新 ジカウイルス感染症の発生状況（更新）】

WHO よりジカウイルス感染症（いわゆるジカ熱）に関する発生情報が報告されています。2016年2月12日付けの世界保健機関（WHO）の情報によりますと、ジカウイルス感染症の発生状況は以下のとおりです。

註：今回からは、内容を簡潔に伝えるために、内容を絞って掲載しています。内容の一部に矛盾もみられますが、翻訳は原文にしたがって行っています。詳細は、原文でご確認下さい。

【要約】

- WHO は、感染対策、調査活動、研究に焦点を絞った対策戦略の基本骨格に関する機関を通じて、協調体制での多部局にまたがる対応を呼び掛けています。
- 2007年1月以降に、39か国でこのウイルスの国内感染での流行が報告されています。地理的な分布は着実に拡大しています。
- ブラジル、フランス領ポリネシア、エルサルバドル、ベネズエラ、コロンビア、スリナムの6か国で、ジカウイルス感染症の集団発生と同時期に小頭症及びギラン・バレー症候群患者の発生数の増加が報告されています。プエルトリコとマルティニーク島では、患者数の増加はないものの、ジカウイルスへの感染が関係するギラン・バレー症候群患者が報告されています。これまでのところ、ジカウイルスと小頭症またはギラン・バレー症候群とを関連付ける科学的証拠は確認されていません。
- ジカウイルスの拡大に伴い、女性生殖機能の健全性に焦点が集まり始めています。最新の研究では、妊娠中にジカウイルスに感染したことが新生児の小頭症と関連している可能性が示唆されています。
- WHO は、妊娠女性だけでなく、これからの妊娠を考えている女性とその配偶者に向けて、ジカウイルス感染症が流行する国への渡航に当たってのアドバイス（助言）をしています。

（省略）

《出典》WHO. ZIKA Situation Report. 12 February 2016
Neurological Syndrome and Congenital Anomalies
<http://www.who.int/emergencies/zika-virus/situation-report/who-zika-situation-report-12-02-2016.pdf?ua=1>